

令和7年度 杉並区施策評価シートⅠ

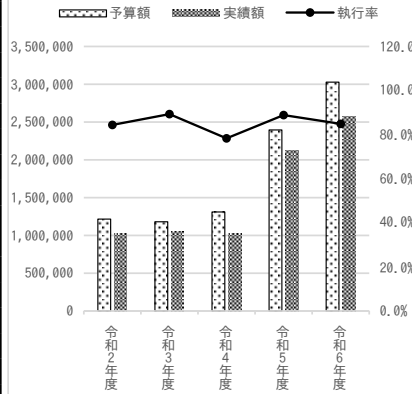
施策	05	人々の暮らしを支える都市基盤の整備
分野	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	都市整備部管理課	関係課 市街地整備課、土木計画課、土木管理課、土木事務所

- 施策目標
- 鉄道の連続立体交差化や各地域の実情や特性を踏まえた駅周辺道路・広場の整備が行われることにより、踏切による交通渋滞・事故や地域分断の解消、及び円滑な交通ネットワークの形成が進んでいます。
 - 都市計画道路や生活道路の整備が着実に進むことによって、まちの防災性や安全性が高まり、移動しやすいまちになっています。
 - 都市基盤整備の基礎となる区内の土地や建物などの情報が着実に整備され、都市基盤の整備や大規模災害への備えが進んでいます。
 - 地域の特性や多様な地域住民の意見を踏まえ、区民相互及び区民と区の対話に基づくまちづくりが進んでいます。

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度 目標値
活動指標	安全対策路線の整備延長	平成29年度からの整備延長	km	計画	1.5	1.7	2.5	1.5	
				実績	1.5	2.3	2.5	-	
				達成率	100.0%	135.3%	100.0%	-	
	補助132号線の用地取得率（面積）	事業用地買収面積（累計・実績） ÷事業用地面積（計画）	%	計画	34	33	42	42	
				実績	14.2	23.5	28.5	-	
				達成率	41.8%	71.2%	67.9%	-	
	補助221号線の用地取得率（面積）	事業用地買収面積（累計・実績） ÷事業用地面積（計画）	%	計画		4.5	12	22	
				実績		4.1	5.1	-	
				達成率	-	91.1%	42.5%	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
成果指標	身近な道路が安全で快適だと思う区民の割合	区民意向調査による	%	計画	78	78	77	77	令和12年度 80%
				実績	75.9	78	78.7	-	
				達成率	97.3%	100.0%	102.2%	-	
	分類 区民満足度指標								
	都市計画道路（区道）完成延長	区内の都市計画道路のうち整備が完成した区道延長	m	計画	7,022	7,022	7,022	7,022	令和12年度 8,178m
				実績	7,022	7,022	7,022	-	
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
	分類 行政サービス成果指標								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	1,216,016	1,180,610	1,310,338	2,395,512	3,028,029	3,537,752
			実績額	1,026,423	1,054,506	1,026,198	2,129,079	2,570,594	-
			執行率	84.4%	89.3%	78.3%	88.9%	84.9%	-
	人件費	千円	予算額	162,013	160,306	205,322	195,639	184,126	260,762
			実績額	160,309	195,338	212,260	205,139	267,576	-
			執行率	98.9%	121.9%	103.4%	104.9%	145.3%	-
	総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	1,378,029	1,340,916	1,515,660	2,591,151	3,212,155	3,798,514
			実績額	1,186,732	1,249,844	1,238,458	2,334,218	2,838,170	-
			執行率	86.1%	93.2%	81.7%	90.1%	88.4%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	4,500	1,000	3,500	165,750	287,950	4,972
			実績額	4,010	1,000	2,850	160,401	286,331	-
			執行率	89.1%	100.0%	81.4%	96.8%	99.4%	-
	総事業費伸び率 (予算額、実績額の対前年度比)	%	予算額		-2.7%	13.0%	71.0%	24.0%	18.3%
			実績額		5.3%	-0.9%	88.5%	21.6%	-
	人件費比率 (人件費÷総事業費)	%	予算額	11.8%	12.0%	13.5%	7.6%	5.7%	6.9%
			実績額	13.5%	15.6%	17.1%	8.8%	9.4%	-

事業費の年度推移



特記事項

道路の路面改良事業について実行計画に基づき道路整備面積が増加したほか、上井草駅北口駅前広場等整備事業により先行買収していた用地を杉並区土地開発公社から買い戻す費用を計上したことなどに伴い、令和6年度事業費は令和5年度事業費と比べて大幅な増となった。また、道路の路面改良事業における工事落札差金が多く発生したことや、京王線連続立体交差事業の用地取得の難航により建設事業負担金が不用となったことなどから、令和6年度の予算額と実績額に大幅な差が生じた。

施策の成果		<p>令和6年度末の都市計画道路事業用地の取得率は面積ベースで、西荻窪の補助第132号線が28.5%、高円寺の補助第221号線が5.1%となりました。また、都市計画道路の役割や整備した場合の効果を分かりやすく区民等に知っていたため、未整備の都市計画道路を対象に区独自の指標に基づき検証を行ったほか、現在事業中の西荻地域と高円寺地域、都事業である中杉通りの延伸計画がある阿佐谷地域それぞれを整備した場合の効果のうち、定量化が可能な項目について可視化しました。</p> <p>都市計画道路周辺地域において、区民が主体的にまちづくりに取り組むための場として（仮称）デザイン会議を設置し、西荻窪地域・高円寺地域では3回、南阿佐ヶ谷地域では1回の会議を開催しました。</p> <p>西武新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）連続立体交差事業及び上井草駅北口駅前広場等整備事業については、用地補償説明会を令和6年12月に開催し、関係地権者の意向等の把握に努めました。また、下高井戸駅周辺において「街づくり懇談会」を世田谷区と連携して3回開催しました。さらに、下高井戸駅北口杉並街区の地権者などから構成される「まちづくり準備会」では、まちづくり手法の検討等を行い、区はその活動を支援しました。</p> <p>都市基盤の整備は、区民の生活に大きな影響を及ぼす可能性があることから、各事業の推進に当たっては、「杉並区まちづくり基本方針」で掲げる、区民主体のまちづくりの実現を図るため、綿密に区民との対話や情報提供を行いました。</p>	
課題の分析		<p>都市計画道路については既に事業着手している路線において、現在、関係権利者との折衝を経て事業用地の取得を進めていますが、一部地域住民からは事業に関する懸念や疑問の声を頂いています。そのため、行政の持つ情報を積極的に提供した上で、周辺のまちづくりも含め対話による議論を重ね、理解を得ていく必要があります。次期事業化計画策定の機会を捉え、都市計画道路の必要性や整備効果を広く区民等に伝えていくことが求められます。</p> <p>都市基盤整備の基礎となる都市基盤情報の整備では、権利関係が複雑な都市部での地籍調査に多くの経費と時間を要することから、国や都の補助金の活用により区の財政負担を軽減しつつ、早期完了を目指して調査を実施していく必要があります。</p> <p>西武新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）連続立体交差事業及び上井草駅北口駅前広場等整備事業については、地権者などの意向を丁寧に聴き、関係機関と連携して用地取得に努めていく必要があります。また、連続立体交差事業沿線のまちづくりについては、まちづくり協議会等の活動や（仮称）下井草まちづくりラボ、オープンハウス等の開催を通じて、地域の方々と意見交換や意見聴取を丁寧に行っていく必要があります。</p>	
改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	拡充	
	今後の進め方	<p>施策目標で掲げる交通渋滞や地域分断の解消、円滑な交通ネットワークの形成のため、鉄道連続立体交差化に伴う駅周辺道路や広場の整備を進めます。また、災害に強い都市の骨格を形成する都市計画道路については、まちの防災性や安全性などを高めるため、区民との合意形成を図りながら事業の推進に努めます。さらに、区民に身近な生活道路についても、歩行者等の安全な通行を確保するため、計画的に安全対策を実施していきます。</p> <p>また、公共物である道路の適正な管理や災害時における迅速な復旧・復興を図るため、地籍調査を含む道路台帳の整備を進めるとともに、地籍調査で必要となる復元測量等については、計画的に事業を実行できるよう実施区域面積の配分調整を行い令和14年度の全域完了を目指します。</p> <p>今後も、区が目指すべきまちの将来像を描いた「杉並区まちづくり基本方針」で掲げる区民主体のまちづくりを実現するため、地域住民に対する十分な情報提供や丁寧な説明、住民との活発な対話を行いながら個別の事業を推進し、杉並区の地域性を重視した住みよい住宅都市としての価値を高めていきます。</p>	

令和7年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 05】【施策名称 人々の暮らしを支える都市基盤の整備】 ※金額の単位は千円

	整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和6年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1	332	まちづくり施策の総合的な推進	○		5,739	18,309	24,048	現状維持
2	334	都市計画道路公園緑地の案内調整			26	13,433	13,459	現状維持
3	337	鉄道連続立体交差化の推進	○	○	726,115	55,357	781,472	推進（拡充）
4	347	都市計画道路周辺まちづくり	○	○	18,962	52,020	70,982	現状維持
5	379	私道整備助成	○	○	140,141	14,396	154,537	現状維持
6	382	道路の路面改良	○	○	1,560,762	52,546	1,613,308	推進（拡充）
7	384	都市計画道路の整備	○	○	118,849	61,515	180,364	現状維持
8		以下再掲事業の評価表						
9	378	道路台帳の整備						
10	383	魅力ある歩行者優先の道づくり						
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
合計					2,570,594	267,576	2,838,170	

施策を構成する
事務事業に関する特記事項

「鉄道連続立体交差化の推進」（事務事業評価の方向性：現状維持）…今後の事業進捗に伴い事業費の増が見込まれることから、施策評価における方向性を“推進（拡充）”としました。

「都市計画道路の整備」（事務事業評価の方向性：縮小）…事業の性質上、単年度に見込まれる事業費は、事業用地の買戻しの予定に応じて大きく変動します。本事業は長期的視点に立ち、継続して取り組む必要のある事業であるため、施策評価における方向性は“現状維持”としました。